

The 44th SUZUKI METHOD GRAND CONCERT

スズキメソッド グランドコンサート



27 March 1998

去る1月26日、世界中から愛された
鈴木鎮一先生が99歳で亡くなりました。
先生は、私たちに音楽だけでなく多くのものを残してくださいました。
今日、私たちの響きが天国の鈴木先生に届くように
感謝をこめて演奏いたします。

第46回 卒業式 (午後1時)

第44回 グランドコンサート「奏でる心 輝く心 いつまでも」

1998.3.27 (金) 午後2:00開演 日本武道館 (東京・九段)

後 援 東京都教育委員会 毎日新聞社 日本経済新聞社
産経新聞社 東京新聞 TBS フジテレビジョン
テレビ朝日 テレビ東京

鈴木先生に感謝をこめて	1
「人は環境の子なり」 鈴木鎮一	2~3
鈴木鎮一アルバム	4~7
スズキメソードが持ち続けるもの 井崎正浩	8
鈴木先生の贈り物 ヴァルトラウト 鈴木	9
可能性について 本多正明	10
豊かな心と音楽の喜び 大坂和彦	11
幸運な出会い 井深大	12
スズキメソードで世界を結ぶ国際スズキ協会 高橋利夫	13
1997年 行事アルバム	14~17
グランドコンサート全景写真	18~19
プログラム	20~21
プログラムノート(曲目解説)	22~23
小林一茶の俳句かるた	24~25
コンサートスタッフ	26

鈴木先生に 感謝をこめて



人は環境の子なり

鎮一

一



才能は生まれつきではないということを確認していた鈴木先生は、幼児教育の重要性を早くから説いてきました。子供が成長期に環境からいろいろなことを吸収する能力の高さを活かし、音楽を通してその可能性を育てることに一生を捧げたのです。「人は環境の子なり」とは能力も感覚も生まれた日からの環境に適応してつくられるということを伝えています。幼児期はまさに感覚と能力の運命を定める人間形成の毎日なのです。

世界のすべての子供たちは自分の国の言葉を自由自在に話せます。それはくり返しくり返し身につけていくからです。これこそが子供の才能を信じる才能教育の母国語教育法なのです。

もうひとつ、鈴木先生は「どの子ども育つ、育て方ひとつ」ということばで、子を持つ親へ熱いメッセージを送っています。子供を育てることに不慣れな若い親達に「育てる」ことの重要性や親としての自覚を音楽を介して教えてくれています。母親は子供にとって世界で一番素晴らしい教師になれるのです。子供と真剣に向かい合い共に成長した時間はかけがえのないものになるでしょう。

鈴木先生の深い愛情を思うとき、私たちはあらためて、可能性を与えられて生まれてくる子供たちを、どの子ども立派に育てる責任を強く感じます。

鈴木 鎮一



世界のすべての国のベビーは、大昔から皆頭がとてよく、親によって自由にそれぞれの母国語をしゃべる優れた能力に育てられていく、その事実気がついたのです。おやおや、世界のすべての親の中で、今まで目の前のわが子を生まれつきのすばらしい能力の子供だと気づく人が一人もいなかったのは、何と人類最大の、うかつな問題だったと驚いたのは、今から六十数年前の私の発見でありました。

そして、私の新しい人生が始まりました。どの子ども母国語を身につけて育つベビーの頭の働きとは、何から始まるのか。そして知ることの出来たのは、生命の働きです。

能力のすべては、生命が身につけていきます。「人は環境の子なり」です。

生命には生まれつきの素質はなく、どのベビーも皆同じ生命の存在なのです。ですから数万年も大昔の

石器時代のどのベビーでも、もし今から松本でそのベビーに私がバイオリンを教えはじめたら、10年で、いずれチャイコフスキーのコンチェルトも弾きます。

親の皆様、教育はお上手なあなたのお子様の言葉のように、音楽でも何でも、立派に育ちます。「どの子ども育つ親次第」ですから、どうぞよろしくおねがい致します。

I have realized the fact that babies all over the world have superior potential and they can be educated to acquire the excellent ability of fluently speaking their mother tongue. Over 60 years ago, I was startled to realize this fact. Oh, dear! None of the nice parents all over the world have ever realized that their own children are born with splendid potential. It is one of the most careless mistakes human beings have made!!

At the time of this discovery, in my new life, I started thinking: Where does this ability of all babies, by which they grow and learn their mother tongue, originate? I realized that it is the work of the life force, the great ability to adapt to circumstances.

All abilities can be acquired through the life force. "Man is a son of his environment." It is essential to create a good environment.

There is no such thing as inborn ability. All babies are born equal. Even a baby from the Stone Age (tens of thousands of years ago), would be able to play the violin if I taught him in Matsumoto. And within 10 years he could perform the Tchaikovsky Concerto, one of the most difficult pieces. ENVIRONMENT!

Please all parents, educate your children the way in which they learned their language, whether in music or in any other subject, they can develop wonderfully. Please realize and remember that "Every child can be educated depending on how his parents bring him up."





1983年 第34回夏期学校 スーツも気にせずステージに正座



鈴木先生の目の高さはいつも子供と同じ



1976年 アメリカ ウィスコンシンにて

鈴木先生はほんとうに心から子供たちを尊敬し、
その指導法はユニークで愛情あふれるものでした。



1983年 第34回夏期学校 きまりのポーズ



1982年 第33回夏期学校 子供と一緒にカルタ遊び

いつも変わらぬ先生の笑顔

小さな子供たちが楽器を持って鈴木先生の回りを囲む。穏やかな笑顔で子供たちとヴァイオリンを弾く幸せそうな鈴木先生。こんな光景を各地の大会や夏期学校で見してきました。鈴木先生の回りにはいつも小さな子供たちがいました。

「子供たちの頭の中はダムのようなものです。ダムに水をいっぱい貯えさせてください。水がいっぱいあれば必要なときに電力をすぐに得ることができます。」と鈴木先生は言われました。

「どの子も育つ」の「どの子も」の言葉には鈴木先生の限らない子供への深い愛情がこめられています。子供たちの中には育てられた環境の違いによっていろいろ困った子供たちもたくさんいます。それらを含めて「どの子も」ということは、どんな子も見捨てないということで、そこに先生の子供たちへの限らない愛情と強い期待がこめられています。

つねに子供の輪の中にいた先生は、90歳になられても幼児学園の運動会には必ず現れて4、5歳児と一緒にかけっこをしていました。しかも、いつもの背広と革靴で!!



1986年 第37回夏期学校 各国の子供たちが参加



1988年 第39回夏期学校 遊びを取入れて楽しく練習。



1993年 第41回卒業式で色紙を手渡す先生



1985年 第36回夏期学校



1980年 8月 ヨーロッパ研究大会(ロンドン)



1983年 第6回国際大会 松本にて



1986年 第32回全国大会 O.K



1967年 ヴァイオリニスト、オISTRAフが第13回全国大会(日本武道館)に出席



1973年 フルーティストのモイーズが本会の招きで来日



1989年 鈴木先生を松本に訪問されたコントラバス奏者ゲーリー・カー(左)

これまで、世界中から鈴木鎮一先生のもとを訪れた音楽家や文化人は、数知れません。ことに全米弦楽指導者協会の招きで、10人の子供たちが1964年にコンサートツアーを行い、ジュリアード音楽院や国連で熱狂的な歓迎を受けてからは、一段と世界の関心が深まり、多くの素晴らしい出会いが実現しました。それはまた、すべての子供の幸せを願う、鈴木先生の心に共鳴した人々との暖かい交流でもありました。

子供たちのドッペルコンチェルトの演奏を目のあたりにしたカザルスは、鈴木先生の肩を抱いて「音楽は世界を救うであろう」という言葉を残しました。

「生命(いのち)ある音」を通して“人間”を育てるスズキメソッドに寄せられる世界の期待は、今後ますます大きなものとなるでしょう。



1971年 来日のヴァイオリニスト、メニューヒンとスズキメソッドの子供達



1974年 本会の招きで来日のヴァイオラ奏者、プリムローズ

1980年 カザルス像(松本)の前のチェリスト、ナバラと鈴木先生



1961年 子供達の演奏に「世界は音楽によって救われるであろう」とスピーチされたチェリスト、パブロ・カザルス



「音楽と子供」どちらも世界共通のテーマです。鈴木先生の教育理念は国や言葉の違いも超え世界に受け入れられています。



1984年 第30回全国大会で皇太子ご夫妻をお迎えする鈴木会長

1978年 4月9日、ワシントンのケネディ・センターで、カーター大統領から激励される鈴木会長と子供達

AMERICA NEEDS SUZUKI



鈴木先生の功績が讃えられて

- 1961年(昭和36年)63歳 11月、信濃毎日文化賞 受賞
- 1965年(昭和40年)67歳 SAN LEANDRO, CAL.名誉市民 授与
- 1966年(昭和41年)68歳 6月、アメリカ・ボストンのニューイングランド大学より名誉音楽博士号 授与
- 1967年(昭和42年)69歳 6月、アメリカ・ルイビル大学より名誉音楽博士号 授与 City of Flint, Michigan 名誉市民 授与
- 1969年(昭和44年)71歳 ベルギーのイザイ財団 イザイ賞 受賞
- 1970年(昭和45年)72歳 11月、勲三等瑞宝賞 受賞
- 1972年(昭和47年)74歳 2月、アメリカ・ロチェスター大学 名誉音楽博士号 授与
- 1973年(昭和48年)75歳 人間能力開発機構 スペクトラ賞 受賞
- 1976年(昭和51年)78歳 8月、アメリカ各地の夏期学校に招かれ、サンフランシスコ、ウィスコンシン、ロチェスター、シアトルと、約40日間にわたり指導、大歓迎を受ける 10月、第6回モービル音楽賞 受賞
- 1978年(昭和53年)80歳 アメリカ・ジョージア州アトランタ市名誉市民 授与 4月9日、ワシントンのケネディ・センターで、日米各100名の子供たちによる親善コンサートを開く、このときカーター大統領は、鈴木会長と子供達を激励
- 1980年(昭和55年)82歳 松本市名誉市民
- 1982年(昭和57年)84歳 5月、ソロブチニスト 日本財団第1回千 嘉代子賞 受賞 7月、フランス 教育功労勲章授与 アメリカ・ノースイースト・ルイジアナ大学 名誉博士号 授与 アメリカ・ルイジアナ州モンロー市長 名誉市民 授与
- 1984年(昭和59年)86歳 アメリカ・オバリン大学で名誉音楽博士号 授与 10月13日、カーネギー・ホールの主催で10名の鈴木チルドレンが公演
- 1985年(昭和60年)87歳 3月、ドイツ連邦共和国功労勲章一等功労十字賞 受賞
- 1990年(平成2年)92歳 イギリス・セントアンドリュース大学より名誉博士号 授与
- 1992年(平成4年)94歳 5月、アメリカ・イサカ大学より名誉博士号 授与
- 1993年(平成5年)95歳 4月、アメリカ・メリーランド大学より名誉博士号 授与



1969年(昭和44年) イザイ賞受賞
ベルギー政府がユジューヌ・イザイの死後イザイ財団を設立し、彼の作品を広く世に知らせ、国際的に多大な貢献をした音楽家に与えられる賞である。これ迄にカザルス、シュバイツァーなどの偉大な音楽家に授与されている。



指揮者
井崎 正浩
Masahiro Izaki
Conductor

プロフィール

95年5月のブタベスト国際指揮者コンクールに優勝以来、一躍注目を集め始めた指揮者。これまでにハンガリーの主要なオーケストラを指揮し、どれも高い評価を受けている。同劇場に招かれ「メリー・ウィドウ」を指揮してデビュー、それまでの伝統を踏まえた上での新鮮な音楽作りに絶賛される。

また「音楽の友」誌上の特集「コンサート・ベストテン'96」に選ばれた。

「ヨーロッパの精神を持った指揮者」「日本人離れをした才能と感覚」の評価が高まる。国内でも東京シティーフィル、読響、日本フィルなどの主要なオーケストラを指導しどれも高い評価を受けている。

才能教育研究会とは10年前より「生徒の弦楽合奏団」の指揮者となり、今までに松本やバンパシフィックの夏期学校、韓国の世界大会、東京、鹿島、宇都宮などで指揮する。日韓合同や日韓豪合同演奏などで音を通して国際親善も果たす。また、ピアノ科のコンサートではコンチェルトを指揮し、生徒達の可能性をより高く引き出す演奏に絶賛を浴びた。

今後も世界各国での活躍に大きな期待が集まっている。

スズキメソッドが持ち続けるもの

スズキ・チルドレンと私との出会いは、ちょうど東西ドイツ統合の前年、私の指揮活動も始まって間もない頃で、旧東ドイツへの演奏旅行のため作られたストリング・オーケストラを指揮・指導するのがきっかけとなり、多くのメンバーや先生方と交流することがそれでした。

私にとって大きな驚きは、子供たちが持つ優れた技術と表現能力の多様性でした。同じメソッドを学ぶことから生まれる演奏の同一スタイルは、それが合奏においても失われることなく、アンサンブル作りをととても容易にしてくれたことを今でもはっきりと憶えています。しかしそれ以上に私を驚かせ喜ばせたこと、それはこの子供たちがその年齢に応じた個性を決して失っていないことでした。選ばれた集団の中での教育はともすれば「子供らしさ」を失うことがしばしばですが、彼らはみな「素直さ」を持ち続け、のびのびと音楽を楽しんでくれました。しかも他の合奏団でもこの事は変わることはありませんでした。これはスズキメソッドにより培われた、とても大切なことだと思います。

東ドイツ訪問はその後のドイツの国内情勢により実現叶いませんでしたが、彼らとの活動はその後、韓国を始め各地での演奏へとつながり、私もアンサンブルや弦楽器の奏法に対する知識をより深めることができました。この事はプロの指揮者となった今でも、立派な若者に成長してかけがえのない友人となった彼らと共に、私の大切な宝物です。

The Everlasting Spirit of the Suzuki Method

I first encountered the "Suzuki Children" when I was asked to instruct and conduct a string orchestra made up of Suzuki children which was formed for a special concert tour in East Germany. It was the year before the unification of East and West Germany, and I had just begun my career as a conductor. Through this opportunity, I was able to get to know many students and teachers of the Suzuki Method.

The thing that surprised me the most was that these children had both superior technical ability, as well as, a variety of expressive abilities. I clearly remember that their common performing style, which they had mastered through the same method of studying, was still strong even in their group performance. This was very helpful for me in forming a good ensemble. However, I was even more surprised and delighted to find out that they never lost the individuality which reflected their age.

When children are selected to be educated in a special group, it is easy for them to lose their "childlike" character. However, these children had kept their "innocence" while enjoying the music which they performed comfortably. Furthermore, this was recognized in other Suzuki orchestras. I think this is a very important factor which has been fostered through the Suzuki Method.

Unluckily, my plan to accompany this group to East Germany could not be realized on account of the domestic conditions of Germany. However, our continued efforts blossomed into a new concert tour in Korea and other places. This experience also helped me to deepen my understanding of ensembles and performance techniques of string instruments.

I have treasured and will always treasure this experience, as well as, these students who have become superior adults and are now my irreplaceable friends.



才能教育研究会 副会長
ヴァルトラウト 鈴木
Waltraud Suzuki
Vice President

鈴木先生の贈り物

鈴木先生は、人類の心に贈り物をのこし、子供たちに、クラシック音楽の巨匠の作品を演奏することを通してその能力を高く育て、喜びと自信を与えました。このことを世界中がほめたたえています。先生は、その生涯をかけて、すべての子供の幸せのために、よりよい世界をつくらうとしました。そして、世界中の家庭に、喜び、幸せ、そしてハーモニーをもたらし、その人生を豊かなものにしました。先生は、教育家として、広い視野と子供の能力に対する信念を持ち、それが、子供たちの学び方を理解する並外れた力となりました。先生の残した遺産はこれから数多くの生命と触れ合っていくでしょう。そして、鈴木先生が築き上げた哲学は、すべての皆様の中に生き続け、皆様を通して未来の世代に受け継がれていくことでしょう。先生のお気持ちが皆さまの中に永遠に生き続けますようにお祈りいたします。

鈴木先生を偲んで

この瞬間を分かちあう多くの心、
微笑みをたたえた先生のひとみを思い出しながら。
先生への深い愛。
鶴は翼を広げ舞い上がる、
今は亡き私たちの先生とともに。
先生の生涯を思い起こす時、
そこにはいつも子供たちの笑い声。
さよなら、先生。

キャサリン・ウッド
ジョアン・ヘンダーソン・ストロベル
スズキメソッド指揮者
アメリカ合衆国ウィスコンシン州アップルトン
ローレンス芸術アカデミー

Spiritual Gifts of Dr. Suzuki

Suzuki-Sensei is praised in the whole world for the spiritual gifts he gave mankind, as well as the joyful feelings and confidence he instilled in children when they developed their abilities to play the Masters of classical music. His life work was to make this a better world for the happiness of all children. He brought joy, happiness and harmony into families around the world, thereby greatly enriching their lives. He was an educator whose wide vision and belief in the ability of children has made an outstanding contribution to understanding the way children learn. His legacy will touch thousands of lives. The principles that Suzuki-Sensei embodied will continue to live on, and through you all, will pass on to future generations. May his spirit live on forever in your lives.

A TRIBUTE TO Suzuki-Sensei

Many hearts sharing this moment
remembering his smiling eyes.
Deep is our love,
The winged crane soars
with our lost teacher.
We will remember his life
in the laughing voices
of the children.
Sayonara Sensei

Katherine Wood and Joanne Henderson Strobel
Suzuki teachers
Lawrence Arts Academy, Appleton, WI, USA



We Would have celebrated our 70th Wedding anniversary on February 8, 1998.

2月8日に結婚70周年の記念日を迎える予定でした。



大会委員長
本多 正明
Dr. Masaaki Honda
Chairman of the Grand Concert

可能性について

一般に可能性という言葉がよく使われる。勿論その意味は一定の条件の下に現実化する資格のことをいう。才能教育の基本的理念は、音楽で子供の可能性を伸ばす条件を教えることにある。バイオリンでもピアノでも演奏する最低の条件は五体満足であり、知的障害のないことである。しかし指がスムーズに動いても練習をしない限り一曲も弾くことはできない。私が日常診療している脳障害の子はこの最低条件が満たされていないのである。医学的に治療不可能とみられているこれらの子供にも可能性があり、毎日くり返される訓練によりマヒや知的能力は少しずつ回復し、やがて楽器を弾く事が出来るようになる。勿論、その為には良き指導者、親の協力等が前提条件であることは普通の子と同じである。

又生まれつきの素質がよく問題にされる。全ての子供が喋ることが出来ると言っても、彼等が皆雄弁家になれるわけでもなく、やはりなるための条件が必要である。つまり当然遺伝質に左右されるのである。ダーウィンは19世紀に進化論を発表したが、彼はガラパゴス島に住む亀と南米本国の亀が同種であっても、首の長さの違いを発見し、環境によって子孫の体格が変わることを指摘した。このことは自分に才能がないと思っても、繰り返し努力するうちに次の時代には遺伝質が変化することを示唆している。つまり誰にも可能性があり、それを育てるための環境をつくることが一番大切であり、今日演奏する子供たちは世界にこのことを実証しているのである。

Potential

The word "potential" is often used. It means, of course, the capability which can be realized under definite conditions. The basic philosophy of the Suzuki Method is to teach the conditions to develop children's potential through music. The minimum requirement to play an instrument like violin, piano, etc. is not having any physical or mental impairments. However, even if your fingers work efficiently, you wouldn't be able to play even one piece without practice. The children whom I usually examine as a doctor are mentally impaired and don't fill this minimum requirement. Medically they cannot be cured, yet they still have their own potential. Through their daily practice, their paralyses and mental impairments have been improved little by little, and they are able to play an instrument. Of course they need a good teacher and their parents' cooperation to do this just as other non-disabled children need.

People often discuss inherited talent. All children can speak a language yet, not all become an eloquent speaker. This would require special conditions to develop. Darwin reported in the Theory of Evolution in the 19th century that he discovered the same kind of turtles lived both in the Galapagos Islands and the South American mainland. However, the length of their necks were different. He pointed out that physical constitutions of descendents can be changed depending on their environment. This suggests that even if one assumes he has no ability, the inherited factors of his descendants can be changed through his repeated efforts.

Everyone has potential and it is important to make a good environment to develop it. The children who will perform today will prove this to the world.



コンサート実行委員長
大坂 和彦
Kazuhiko Osaka
Chairman of the Grand Concert
Committee

豊かな心と音楽の喜び

今日は、スズキメソッド第44回グランドコンサートにおいでくださりまして、ありがとうございます。

“音楽を通して豊かな心と高い能力を育てる”

鈴木鎮一先生がお掲げになったこの高い目標を目指して、先生方や生徒達、そしてご家族の皆様、ことにお母様方は日々のおけいこに励んでおります。今日は、この成果を発表しようと全国各地から3000人の子供たちがコンサート会場に集まって演奏いたします。

今回コンサートでは、スズキメソッドの素晴らしさを世間に披露するだけでなく、文字通り“音楽を楽しむ”、そして音楽の喜びを皆で共有することを願ったプログラムにいたしました。家庭での毎日の練習は決して楽しい事ばかりではなく、親子共にご苦勞も多いかと思えます。しかし、その努力が多ければ多いほど、楽しさも喜びもより大きいものとなり、それが周囲の人々にも伝わるはずでです。このコンサートに向けて半年近く練習してきた生徒たちは、今日の素晴らしい演奏で、最高の喜びを皆様と分かち合えることでしょう。

会場全体が感動に包まれて、聴きにいらした皆様も生徒たちも、そして天国の鈴木先生にも満足して頂けるコンサートになることを願っております。

どうぞ最後までごゆっくりとお楽しみください。

The Rich Heart & The Joy of Music

We would like to thank all of you for coming to the 44th Suzuki Method Grand Concert.

"Let's develop fine personalities with superior abilities through music." This is Dr. Shinichi Suzuki's special goal. All the teachers, students and their family members, especially the mothers, are working hard every day to reach this special goal.

Today 3,000 students from all over Japan will gather together in this concert hall to demonstrate the fruits of their hard work. We selected today's program with the theme "enjoy the music" hoping you will share the joy of music as we demonstrate the excellence of the Suzuki Method.

We know that through daily practice, both parents and students encounter not only joy but also some difficulties. However, it is true that the harder they work the more joy they will feel, and then this joy can be spread to others around them. All the students who have worked hard for today's concert will share the most joy with you through their wonderful performance.

We sincerely wish that all of you along with today's performing students and Dr. Suzuki in heaven will be filled with great joy and satisfaction from this concert.

We hope you will greatly enjoy this concert.



才能教育研究会 名誉会長 **井深 大**
Dr. Masaru Ibuka
Honorary President

昨年12月19日、本会名誉会長で、ソニー創業者最高相談役の井深 大先生が亡くなられました。89歳でした。井深先生は、1908年栃木県に生まれ、1933年早稲田大学理工学部を卒業後、1946年ソニーの前身である東京通信工業を設立、1950年社長に就任し世界のソニーを育て上げました。また、教育に高い関心をよせ、鈴木鎮一会長の「母国語の教育法」に深く共感され、1969年には幼児開発協会を設立、理事長を務められました。才能教育研究会においては、1970年に理事長、1981年に名誉会長になられご尽力くださいました。

著書に「幼稚園では遅すぎる」(ごま書房)「あと半分の教育一心を置き去りにした日本人」(ごま書房)などがあります。



幸運な出会い

人は一生のうちにどんな人とめぐり合うかで、その人の人生はかなり違って来るものと思われまます。

鈴木鎮一先生という方にお逢いすることが出来たことは、私にとって誠に幸運でありました。

鈴木先生の偉大さは今さら申すまでもありませんが、特に先生が生み出されたスズキ・メソッドは、バイオリンやピアノばかりでなく心の教育にまで及び、愛の美しさ、自然のいとしさ、いのちの大切さ、感謝の気持といった、人間が生きて行く上でいかにして幸せになれるかという基本的なことを、もの心つかないうちから学んでゆきます。これは何気ないようで、実は大変なことなのであります。間もなく我々が迎えることになる21世紀に、私たちは何を遺産として残してゆけるでしょうか。最も貴重なものは、人類の平和と幸福です。

世界中の子供たちがスズキ・メソッドで育てられるならば、こんなことは簡単だと言えましよう。

このすばらしいメソッドを生み出された鈴木先生に、20年近く前に初めてお逢いした時、私は目から鱗が落ちたようなショックを受け、以来、子供から赤ちゃん、胎児に至るまでの可能性を、追求し続けることになりました。

(1989年グランドコンサートメッセージより)

Lucky Encounter

It is believed that one's life is effected by the people one comes in contact with throughout life. A man who I feel I am very lucky to have the opportunity to know is Dr. Shinichi Suzuki.

It is not necessary for me to re-emphasize one of Dr. Suzuki's outstanding accomplishments - the establishment of the Suzuki Method. Through the Suzuki Method one can not only learn instruments like the violin and piano, but one can also learn about and develop spiritually by learning the "beauty of love", the "dearness of nature", the "importance of life", and to respect and be grateful for others. Through the Suzuki Method these basic concepts which assist in building a happy life are acquired before a child begins to take notice of things around him. These things may seem common and unimportant, yet they are very important.

What kind of legacy will we leave behind as we soon enter into the 21st century? Please and happiness for all of mankind is most important. This could be easily realized if all children in the world were nurtured through the Suzuki Method.

Almost 20 years ago, when I met the founder of this great method Dr. Shinichi Suzuki, for the very first time, "the scales fell from my eyes in astonishment." Since that time I have been searching for the development of the potential of children, babies, as well as, fetuses.

スズキメソッドの為に、長い間多大なご尽力をくださいました事に感謝申し上げ、心からご冥福をお祈りいたします。

スズキメソッドで世界を結ぶ国際スズキ協会 (ISA)

The International Suzuki Association, aiming for the world family by the Suzuki Method

21世紀は、生命と感性の時代といわれています。愛の環境の中で子供達の生命力に働きかけて、感性を育てようとするスズキメソッドは、まさに21世紀の象徴的な教育法です。

今日欧米の音楽大学の優れた学生の7~8割方はスズキで教育された学生になってきました。今まで日本人は、世界にたいして何ら精神的な貢献をしてこれませんでした。スズキメソッドこそ我々日本人が世界に貢献できる唯一の誇り得るソフトとなるでしょう。

ISAの目的は、そのスズキメソッドの国際的な普及と交流活動を通じて世界文化の向上と世界平和に寄与することです。鈴木先生の悲願である「どの子どもも育つ世界の教育革命」の実現のために、今後とも皆様の一層のご支援をお願い致します。



国際スズキ協会理事長
Chairman of ISA
高橋 利夫
Toshio Takahashi



INTERNATIONAL SUZUKI ASSOCIATION INC.

Office of the Chairman of the Board
3-10-15 Fukashi Matsumoto City Nagano-Ken 390 JAPAN
(0263)33-7710 FAX (0263)36-3566

It is said that the 21st century is the age of life force and sensitivity.

The Suzuki Method, which can nurture children's sensitivity by working with their life force is really a symbol of the 21st century educational method.

Recently, the major music schools in the world have become filled with students whose early education was in the Suzuki Method. This is persuasive proof that the Suzuki Method is correct and indispensable in music education. In the last few decades, Japan has led the world in areas such as technology, but with the Suzuki Method, Japan is able to make a significant spiritual contribution to the world community.

The ISA is dedicated to the purpose of improving world culture and peace through the international development, promotion, and propagation of the Suzuki Method. I greatly appreciate your financial support and appeal to everyone for your continuing support and cooperation as we face the future together in bringing this revolution in education to the world.

I.S.A. (国際スズキ協会)からのお願い

ご家庭に眠っている楽器をおくってください。

「どの子どもも育つ、育て方ひとつ」がスズキメソッドの根本の大きな柱であれば「人は環境の子なり」も同じく、そのひとつであります。現在、残念なことですが、スズキメソッドを自国の子供たちの教育へ取り入れたくても、社会的な経済基盤が弱いために、実現できない国があります。そこで、このような国々の環境づくりに、使われていない分数楽器を役立てることを、グランドコンサート出演者へ呼び掛けています。本日、この日本武道館の会場に集められました各家庭に眠っていた楽器は、国際スズキ協会の手で修理を行ない、海外の国々へ送られます。再び幼い子供たちと一緒に音楽を奏することは、楽器にとっても喜びとなるでしょう。

"We need your used instruments!"

In the Suzuki Method, "Man is a son of his environment" is as basic a philosophy as "Every Child can be educated". Regrettably, at present there are many developing countries where they cannot adopt the Suzuki Method under their present economic conditions. Therefore we are appealing to today's participants to donate their used instruments for the children in such countries.

ISA will check and repair the instruments and send them out to the countries in need.

We are looking forward to welcoming the children with those instruments and enjoying a marvelous ensemble together in the future.

I.S.A. (国際スズキ協会) 協力 (株)伊藤楽器



演奏中の真剣な表情とあい間の子供らしい笑顔、そのどちらもが素敵です。



全国から参加する各科生徒3,000人。3歳の幼児から高校、大学の生徒まで、スズキメソッドに学ぶ子供たちの年に一度の楽しい祭典です。生徒全員による合奏は、聴くものに毎年新たな感動と希望を与えてくれます。



子供たちの演奏に拍手をおくられる皇太子ご夫妻、高円宮ご夫妻。



第45回卒業式 副会長から卒業証書を受けとる喜びの卒業生。



メキシコへ 楽器寄付

3月11日 東京 赤坂迎賓館にて
「中古楽器を世界のスズキメソッドの子供たちに!!」と呼びかけて集まった楽器が高円宮殿下立会いのもとメキシコの子供たちに大統領夫人を通じて贈られました。



国際スズキメソッド音楽院開校式

4月3日 松本
スズキメソッドの音楽教育充実に向け新たな1歩。



社団法人 才能教育研究会
第27回 関東地区ピアノ科卒業式

ピアノ科卒業式 7,000名以上の生徒が卒業証書を手に入れました。

甲信地区 3月20日 才能教育会館
関東地区 3月28日 中野サンプラザ
関西地区 3月29日 京都コンサートホール
東海地区 4月1日 愛知厚生年金会館ホール



全国指導者研究大会

5月26日～29日 浜松



ピアノ研究グループ講師研究会

5月29日～30日 浜松

講師陣にバイオリン科・豊田耕児先生、チェロ科・林峰男先生、ピアノ科・東誠三先生、フルート科・有田正広先生をお迎えして研究会が行われ、全国の指導者が指導法について意見を交わしました。

第48回 夏期学校

7月25日
～8月2日 松本



グループレッスン・コンサートなど生徒たちの意欲づくり、楽しい能力づくりの効果を上げる盛りだくさんの12日間でした。



第19回 ピアノ科夏期学校

8月2日～5日 松本



第35回 長野県大会
8月31日 長野市

冬期オリンピックを前に世界中から注目を集めている長野での大会。その気持ちの高揚は本大会のテンションも引上げ有意義な大会となりました。



第21回 チェログランドコンサート

9月14日 東京
東京で開かれるチェロ大会は実に13年ぶり、会場は思いのこもった素敵な音色につつまれました。



幼児の能力コンサート
9月15日 京都
長岡京に響く小さな子供たちの大きな大きなハーモニー。

鈴木鎮一先生 白寿を祝う会

10月1日 松本
99歳を祝福し国内外から約460名が列席、盛大な祝う会が催されました。



長野県少年少女バイオリン演奏交流訪中団
10月5日～11日 中国
広大な青空の下、あの有名な万里の長城でもバイオリンの音色を響かせました。



ルイ・モイーズ氏 フルート公開レッスン

10月28日～29日 松本
24年ぶりに来日された氏のレッスンは、モイーズ奏法の神髄に触れる素晴らしいもので、フルート科にとってとても貴重な時間となりました。



スズキデー記念コンサート

10月19日～11月16日 沖縄
はじめて沖縄で開かれた文字通り「記念」すべきコンサート、これからのスズキメソッドの発展につながる大事なコンサートでした。



長野オリンピック壮行会出演

1998年1月27日 東京
日本選手結団式会場いっばいに、選手達を激励する子供たちの元気な演奏が響きわたりました。

1998 - SCHEDULE スケジュール

オリンピック記念コンサート及びチェロ大会
2月8日(日) 長野県民文化会館

ピアノ科卒業式
沖縄地区 2月22日(日) パレット市民劇場
甲信地区 3月21日(土) 才能教育会館ホール
東海地区 3月29日(日) 愛知厚生年金会館ホール
関東地区 3月30日(月) 東京国際フォーラム
関西地区 3月31日(火) 京都コンサートホール

スズキチルドレン・スペシャルピアノコンサート
4月29日(水) 松本市音楽文化ホール

全国指導者研究大会
5月25日(月)～28日(木) グランドホテル浜松

ピアノ研究グループ講師研究会
5月28日(木)～29日(金) グランドホテル浜松

第49回夏期学校
前期 7月25日(土)～29日(水) 松本
後期 7月29日(水)～8月2日(日) 松本

第20回ピアノ科夏期学校
8月2日(日)～5日(水) 松本

第22回チェロ全国大会
日時、場所未定

第9回幼児の能力コンサート
日時、場所未定



The 43rd SUZUKI METHOD GRAND CONCERT

The 46th Graduation Ceremony

第46回 卒業式 午後1時

CONGRATULATIONS
ご卒業おめでとうございます

1998年3月27日(金) 日本武道館

演奏 正派邦楽会 箏の皆様
Koto Performance by Seiha Hogakukai

六段の調べ
Rokudan Kengyo Yatsushashi

松籟譜
Shoraifu Utashito Nakajima

御挨拶 大会委員長 本多 正明
Opening Address Dr. Masaaki Honda, Chairman of the Grand Concert

御挨拶 副会長 ヴァルトラウト 鈴木
Greeting Vice President Waltraud Suzuki

卒業証書授与 副会長 ヴァルトラウト 鈴木
Presentation of Certificates Vice President Waltraud Suzuki

各科卒業演奏 平成9年度卒業生
Performance of the graduation piece Graduates



The 44th Suzuki Method Grand Concert

第44回 スズキメソッド グランドコンサート 午後2時

- 箏とバイオリンの斉奏 春の海 宮城 道雄
Koto and Violin Haru no Umi Michio Miyagi
 - ピアノ斉奏 ジーグ バッハ
Piano Gigue J.S. Bach
 - フルート斉奏 2本のフルートの為の協奏曲第3楽章 チマローザ
Flute Concerto for Two Flutes 3rd mov. D. Cimarosa
 - チェロ斉奏 協奏曲 八長調 第1楽章 ハイドン
Cello Concerto in C, 1st mov. F.J. Haydn
 - フルートと弦楽合奏 フルートと弦楽の為の組曲より「メヌエットとポロネーズ」 テレマン
Flute and Strings Minuet and Polonaise from "Suite in A minor" G.P. Telemann
 - 弦楽合奏 弦楽セレナーデより第1楽章 チャイコフスキー
Strings Ensemble Serenade for Strings in C, 1st mov. P.I. Tchaikovsky
 - バイオリン斉奏 協奏曲 ホ短調 第3楽章 メンデルスゾーン
Violin Concerto in E minor, 3rd mov. F. Mendelssohn
 - フィナーレ 一茶の俳句 唱和 鈴木 鎮一
Finale Haiku verses Shinichi Suzuki
- 合奏 アレグロ/無窮動 鈴木 鎮一
Allegro/Perpetual Motion Shinichi Suzuki
- バイオリン・チェロ・フルート キラキラ星変奏曲 鈴木 鎮一
Violin Cello Flute Variations on "Twinkle Twinkle Little Star" Shinichi Suzuki
- 火祭りの踊り ファリャ
Ritual Fire Dance M.de. Falla
- あし笛の踊り チャイコフスキー
Danse des Mirlitons from Nutcracker Suite P.I. Tchaikovsky
- さくら変奏曲 日本古謡
Variations on "Sakura", an Old Japanese Song arranged by T. Takahashi
- アマリリス ギス
Amaryllis Ghys
- ベニスの謝肉祭 ジュナン
Allegretto from "Carnival of Venice" P.A. Genin
- 白鳥 サン・サーンズ
The Swan Saint-Saens
- スケルツォ ウェブスター
Scherzo C. Webster
- 狩人の合唱 ウェーバー
Hunter's Chorus C.M.V. Weber
- 楽しい朝 鈴木 鎮一
Andantino Shinichi Suzuki
- フランス民謡 外国民謡
French Folk Song Folk Song
- 協奏曲 イ短調 第1楽章 バッハ
Concerto in A minor, 1st mov. J.S. Bach
- ガボット ラモー
Gavotte J.Ph. Rameau
- 二つのバイオリンの為の協奏曲 第1楽章 バッハ
Concerto for Two Violins, 1st mov. J.S. Bach
- 協奏曲 イ短調 第1楽章 ビバルディ
Concerto in A minor, 1st mov. A. Vivaldi
- ユーモレスク ドボルザーク
Humoresque A. Dvorak
- さかさまカノン モーツァルト
Canon Inversus W.A. Mozart
- 狩人の合唱 ウェーバー
Hunter's Chorus C.M.V. Weber
- メヌエット 第1番 バッハ
Minuet No.1 J.S. Bach

PIANO ピアノ

「火祭りの踊り」ファリャ

ファリャは、1876年に生まれたスペインの作曲家です。この曲は、フラメンコを得意とした名バレリーナの依頼で作曲されたバレエ音楽「恋は魔術師」を作曲者のファリャ自身が、ピアノ組曲として編曲したものです。スペインらしいエネルギーで情熱的なこの曲を、皆さんぜひお楽しみ下さい。

FLUTE フルート

「2本のフルートの為の演奏曲より第3楽章」チマローザ

「あし笛の踊り」チャイコフスキー

チマローザは、大バッハが亡くなった前年の1749年にナポリ近郊のレンガ職人の父と洗濯婦の母との間に生まれました。モーツァルトの同時代の人です。貧しい境遇を克服し、サンタマリア・ディ・ロレト音楽院で11年間学び、卒業後はロシア宮廷楽長、ナポリ宮廷楽長を歴任しました。作風は機知にあふれた豊かな旋律、陽気さであります。本日演奏される「2本のフルートの為の協奏曲」にも、そのチマローザの特徴がよく表われています。次に「あし笛の踊り」は、チャイコフスキーのバレエ『くるみ割り人形』の中で3本のフルートと低弦楽器のピチカートで演奏される愛らしい曲です。スズキメソードのフルート科では、3年前に新しく開発された軽量の幼児用フルートを採用し、3才からのレッスンがさらに楽しくなりました。

CELLO チェロ

「チェロコンチェルト第1番ハ長調」ハイドン

フランツ・ヨーゼフ・ハイドン(1732~1809)は二つのチェロ協奏曲を作曲しています。ひとつは優雅で上品な二長調。もうひとつはこの明るく快活なハ長調です。1961年にプラハで発見されました。それまで何と200年も人の目にさらされることなく、演奏されることもなく、ひそかに見つめられるのを待っていたのです。もしかしたら、生前にハイドンが我々に出題したクイズだったのかもしれない。いったいどのように思っていたのでしょうか…? 「さて、見つけることができるかな…?」それとも「早く見つけてほしいなあ…」でしょうか? いずれにしてもこの発見は世界中のチェロ奏者たちにとっては、今世紀最大の出来事のひとつであったように思われます。今では世界中で最もポピュラーなチェロコンチェルトに数えられています。技術的にとてもむずかしい曲ですが、子ども達にとっても楽しく、元気いっぱい演奏いたします。

「白鳥」サンサーンス と 「スケルツォ」ウェバー

チェロと言えばこの「白鳥」を連想される方も多いようです。白鳥の姿のイメージとチェロの音色のイメージが重なって絶妙なコンビネーションです。チェロにはこのような優雅な側面と迫力あるパワフルな側面が同居しています。ウェバーの「スケルツォ」はどちらかと言えば後者にあたると思います。リズムに乗ってたくさん弓を動かして演奏いたします。

「狩人の合唱」ウェーバー

ウェーバーの歌劇「魔弾の射手」の中の男声4部による合唱曲です。チェロの最も得意とする音域と男声コーラスの音域が重なって、原曲の勇ましいコーラスがイメージできるとは思いますがいかがでしょうか?

「楽しい朝」と「フランス民謡」鈴木鎮一

私たちチェロ科も鈴木鎮一先生の曲をバイオリン科と同じように勉強しています。「楽しい朝」はフェルマータやリタルダンドなど、音楽的なテンポの動きを表現するのが大変です。子ども達に大人気の「フランス民謡」は3拍子のおおらかな、しあわせいっぱいの曲です。どうぞお楽しみ下さい。

VIOLIN バイオリン

「さかさまカノン」モーツァルト

このちょっと風変わりな名前の曲は、モーツァルトが31才の頃作曲されたと言われています。ひとつのテーブルに向かい合ってすわった2人がテーブルの上の1枚の楽譜で2重奏できるように、上から弾くと第1バイオリン、楽譜をさかさまにして弾くと第2バイオリンと1枚の楽譜を上下どちらからでも弾けるように作られています。本当にモーツァルト自身の作品か、今日まで真偽がはっきりしていないのでケッヘル番号はありませんが、いかにもユーモアあふれる天才モーツァルトらしいユニークな作品です。

ENSEMBLE 合奏

「フルートと弦楽の為の組曲よりメヌエットとポロネーズ」テレマン

スズキメソード全科(バイオリン、ピアノ、チェロ、フルート)そろっての合奏として今回はテレマンの管弦楽組曲を演奏します。テレマンは、皆さんよくご存知のバッハやヘンデルと同時代のドイツの作曲家です。バッハの息子エマヌエル・バッハの名付け親としても知られ、当時はバッハ、ヘンデルをしのぐほどの人気で大変有名な音楽家のひとりでした。又、その作品の多さでもよく知られています。何と、23年分以上の教会暦祝日の為のカンタータ、46の受難曲、40以上のオペラ、そして今日演奏されるような管弦楽組曲は、わずか2年間に実に200曲(今日発見されているもので約130曲)も作曲したと言われています。今日は、フルートと弦楽のための組曲イ短調より、フルートの半音階を這いあがるような旋律がとても印象的な「メヌエット」と、当時テレマンが新鮮な驚きをもって受け入れたポーランドの音楽をもとに書きあげた「ポロネーズ」をフルート科約80名、バイオリン・チェロ科50名、そしてピアノ科2名の生徒による通奏低音で演奏いたします。

STRING ENSEMBLE 弦楽合奏

「弦楽セレナーデ ハ長調 作品48 第1楽章」チャイコフスキー

チャイコフスキーの弦楽セレナーデは、ほぼ同時代のドボルザークやスークの作品と共に3大弦楽セレナーデと称され、その技術的な難しさとともに合奏の緻密さ、旋律の美しさ、スケールの大きさとすべての面で弦楽セレナーデの傑作中の傑作とされています。本日演奏する第1楽章は、「ソナチネ風の小品」という副題でチャイコフスキー独特のコーラル風の荘重な序奏部と「モーツァルトへの尊敬をこめた」と自身が述べている通り、明るく楽しい中間部をもつ曲です。昨年に引き続き、バイオリン科・チェロ科、約100名の生徒達が暗譜でこの難曲に挑みます。



小林一茶の俳句かるた

三千人の出演生徒全員で、小林一茶の俳句を唱和します。



これは次のねらいから、鈴木鎮一先生が選んだ俳句を使っています。

1. 早い時期から一茶の童心あふれる俳句に親しみ、心を豊かにする。
2. 俳句の季語に接することで、四季の移り変わりを感じとる。
3. 俳句に使われている、美しい日本の言葉の響きを知る。
4. 五七五という幼児でも覚えやすい文で、記憶能力を高める。

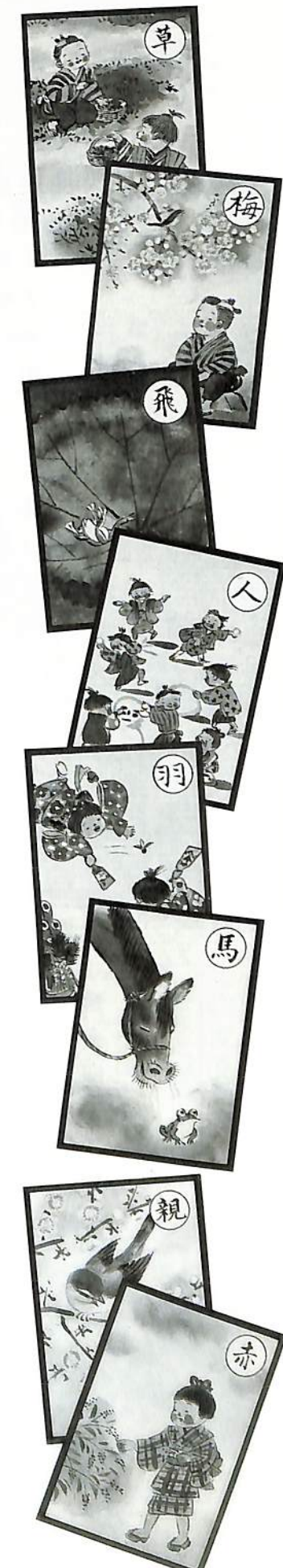
本会では、各教室や各家庭で俳句テープ、俳句カルタを使って、子供が遊びながら学習するように指導しております。

俳句かるた 絵・黒崎義介／書・秋山貴美子



- 1 猫の子の ちよいと押える 木の葉かな
- 2 露の葉に 飛んでひっくり 蛙かな
- 3 草の葉に かくれんぼする 蛙かな
- 4 日本は 這入口から 桜かな
- 5 ぶらんこや 桜の花を 持ちながら
- 6 雪とけて 村いっばいの 子どもかな
- 7 初雪や 一二三四 五六人
- 8 やせ蛙 負けるな一茶 これにあり
- 9 大仏の 鼻から出たる つばめかな
- 10 鶯や ちよと来るにも 親子連れ
- 11 春雨や 猫に踊りを 教える子
- 12 口あけて 親待つ鳥や 秋の雨
- 13 這え笑え 二つになるぞ 今朝からは
- 14 渋柿と鳥も知って 通りけり
- 15 柿の木で あへと答える 小僧かな
- 16 やれ打つな 蠅が手をすり 足をする
- 17 朝顔の 数える程に なりにけり
- 18 夜の雪 黙って通る 人もあり
- 19 うまそうな 雪がふわり ふわりかな
- 20 紫の袖にちりけり 春の雪
- 21 三日月や ふわりと梅に 鶯が
- 22 わんぱくや 縛られながら 呼ぶ虫
- 23 春風や 牛に引かれて 善光寺
- 24 大井川 見えてそれから 雲雀かな

- 25 ゆうぜんと して山を見る 蛙かな
- 26 大蛭 ゆらりゆらりと 通りけり
- 27 子を負うて 川越す猿や 一しぐれ
- 28 年とえば 片手出す子や 衣更
- 29 鶯が ちよいと隣の ついでかな
- 30 馬の子や 横にくわえし 草の花
- 31 雀の子 そのけそのけ お馬が通る
- 32 団栗の 寝んねんころり ころりかな
- 33 名月を 取ってくれろと 泣く子かな
- 34 木曾山に 流れ入りけり 天の川
- 35 茶の花に かくれんぼする 雀かな
- 36 我と来て 遊べや親の ない雀
- 37 春雨や 雀口あく 膳の先
- 38 梅咲けど 鶯なけど 一人かな
- 39 のみの跡 数えながらに 添え乳かな
- 40 うつくしや 障子の穴の 天の川
- 41 菜の花や かすみの裾に 少しずつ
- 42 ちよんぼりと 富士の小脇の 柳かな
- 43 涼しさに ぶらぶら下がる 毛虫かな
- 44 足元へ いつ来たりしよ かたつむり
- 45 霜がれや 米くれろとて 鳴く雀
- 46 雪とける 解けると鳩の 鳴く木かな
- 47 おらが世や そこの草も 餅になる
- 48 たのもしや てんつるてんの 初給
- 49 つく羽根に 転びながらに 一つかな
- 50 信濃路や 山の上にも 田植笠
- 51 本町を ぶらぶらりと 蛭かな
- 52 大の字に 寝て涼しさよ 淋しさよ
- 53 すず払い 藪の雀の 寝所まで
- 54 松陰や ごさ一枚の 夏座敷
- 55 身の上の 鐘と知りつつ 夕涼み
- 56 じっとして 馬に駢る 蛙かな
- 57 寝返りを するぞそのけ きりぎりす
- 58 秋風に 歩いて逃げる 蛭かな
- 59 露の葉に ぼんと穴あく 暑さかな
- 60 昼飯を ぶらさげて居る かかしかな
- 61 母馬が 番して吞ます 清水かな
- 62 浮き草や 浮世の風の いうなりに
- 63 むさし野や 水溜りの 富士の山
- 64 寝た犬に ふわとかぶさる 一葉かな
- 65 秋風や むしりたがりし 赤い花
- 66 牛の子の 顔をつんだす 椿かな
- 67 庭の蝶 子が這えば飛び 這えばとぶ
- 68 大根引き 大根で道を 教えけり
- 69 よし切りや 一本竹の てっぺんに
- 70 さあござれ ここまでござれ 雀の子
- 71 茸がりの から手でもどる 騒ぎかな
- 72 はなやかに 朝日のかかる 野菊かな
- 73 日の暮れに 風の揃うや 町の空
- 74 ふるさとや 餅につき込む 春の雪
- 75 雪ちりり ちりり見事な 月夜かな
- 76 手に足に おきどころなき 暑さかな
- 77 暑き夜や 子に踏ませたる 足のうら
- 78 のどけさや 浅間のけぶり 昼の月
- 79 睦まじき ふた親持ちし 雀かな
- 80 浮世とて あんな小鳥も 巣を作る
- 81 桐の木や てきばき散って つんと立つ
- 82 秋の夜や 窓の小穴が 笛を吹く
- 83 名月や 膳に這いよる 子があれば
- 84 石仏 誰が持たせし 草の花
- 85 梅の木 心静かに 青葉かな
- 86 六十年 踊る夜もなく 過しけり
- 87 とまかくも あなた任せの 年の暮
- 88 焚くほどは 風がくれたる 落葉かな
- 89 このように 枯れてもさわぐ すすきかな
- 90 朝霜や しかも子どもの お花売り
- 91 投げ出した 足の先なり 雲の峰
- 92 五月雨や 肩など叩く 火吹竹
- 93 露の夜は 露の世ながら さりながら
- 94 散ちれ くり枕を 負う子供
- 95 吹きやられ 吹きやられたる こ蝶かな
- 96 頬べたに 当などしたる まくわかな
- 97 めでたさも 中位なり おらが春
- 98 小さい子が 草背負けり 五月雨
- 99 うす壁に ずんづと寒が 入りにけり
- 100 こう生きて いるも不思議ぞ 花の陰



コンサート スタッフ

大会委員長 本多 正明
 大会副委員長 山本 和人 山田 裕子
 実行委員会
 〈委員長〉 大坂 和彦
 〈副委員長〉 小林 庸男 千田 成子
 〈委員〉 荒木千香子 石戸 寛子 大場 裕乃 小川 恵美
 小川みよ子 佐々木弘明 清水 尚志 土屋 育代
 飛永 信康 中陳 伸子 名取 由佳
 奈良 龍二 早川 薫 松永 朋子 山澤 敦子
 〈地区委員会広報〉 上野日出子 寺田 義彦
 関東地区支部長会
 〈幹事長〉 山本 和人
 〈幹事〉 平岩 恵子 大西 裕之 大川富美子 荒木 紀子
 小野美智代 後藤 芳子 佐藤 史子
 ピアノ伴奏 佐古 玲子 石川 咲子 ピカリ直美
 アナウンサー 西原 美智子 山澤 敦子 島野 ロンダ
 賛助出演(箏) 正派邦楽会 総裁・家元 中島 靖子
 ツールデザイン (ポスター・チラシ・プログラム・キーホルダーデザイン・製作)
 (株)工楽社 (桑名) 03-3465-4855
 キャラクターデザイン 桑名 大伸
 編集・印刷 (株)工楽社 (桑名) 03-3465-4855
 (株)電算印刷 (高山) 03-3294-8094
 音響設営 (株)イーストウェーブ (今岡) 03-3381-6226
 会場設営 (株)ムラヤマ (犬伏) 03-3813-1204
 照明設営 (株)共立 (志村) 03-3469-1504
 ビデオ撮影 (株)長野フジカラー ビデオハイテック (松木) 026-283-4357
 フラワーデザイン (株)国際フローリスト・トーキョー (浜田) 03-3708-8700
 翻訳 保高 みちる
 Special thanks 細川 博 (才能教育研究会 編集部)
 河野 由起子 (国際スズキ協会)
 駒崎 由美 (才能教育研究会 本部職員)

事務所所在地 社団法人 才能教育研究会
 本部 〒390-0815 長野県松本市深志3-10-3 TEL 0263-32-7171
 東京事務所 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 駿河台スカイビル3F TEL 03-3295-0270
 東海事務所 〒461-0005 名古屋市東区東桜1-10-3 則武ビル 6F TEL 052-951-1352

SONY

Digital Dream Kids

「^ベ平面^ガ」で見てこそ、
ハイビジョン。

FD Trinitron

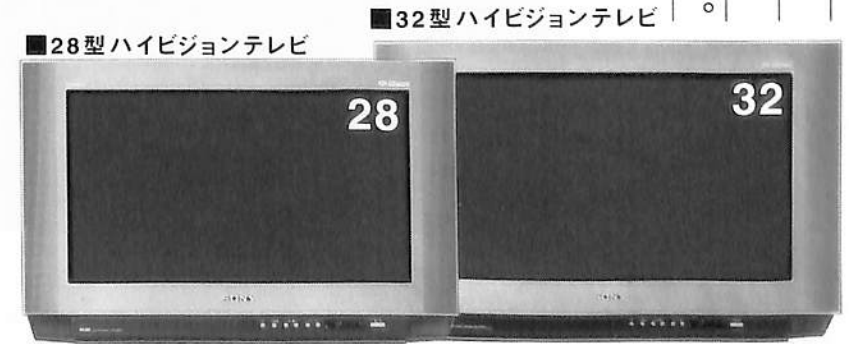
WEGA

ソニー独自の平面ブラウン管「FDトリニトロン」搭載。

普通のテレビ放送をリアル4倍密画像で楽しめる
「デジタル・リアリティー・クリエーション」搭載。(KW-32HDF9)

フレキシブル2画面機能/
「1+12画面」ピックアップインデックス機能。(KW-32HDF9)

一度見たら、
誰だって
「平面」になる。



■28型ハイビジョンテレビ KW-28HDF7 標準価格330,000円(税別) / ■32型ハイビジョンテレビ KW-32HDF9 標準価格480,000円(税別)

もはやテレビは「平面」の時代。

●カタログ送呈=はがきに住所・氏名・年齢・職業・電話番号・機種名を明記の上、〒141-8687 東京都品川区北品川6-5-8 ソニーカタログ係へ。
 ●標準価格には 配送設備・工事・接続調整などの費用は含まれておりません。●商品を安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず
 「取扱説明書」をよくお読みください。●ご購入の際は、必ず「保証書」の記入事項を確認のうえ、大切に保管してください。
 ●「Digital Dream Kids (デジタル・ドリーム・キッズ)」は、ソニーの企業姿勢を表すスローガンです。
 Sony online <http://www.sony.co.jp/>
©Sony online は インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。



 慧才能教育研究会